

□ : 中国留学を終了された方の声 □ : 中国留学中の方の声

事前の語学力の必要性

中国語は初級まででも国内でしっかりやってから行くべき。(語学+専門、政府奨学金)
語学力は本当につけておいた方がいいと思います。留学前に現地に早めに行く、語学学校に通うなどで補ってください。(専門、交換・派遣)
文法はなるべく日本で勉強して行って現地では会話能力の向上に力を入れた方がいいです。(語学、私費)
語学の基礎力不足を痛感した。語学の基礎は日本でも習得できるし、それが出来ていないのは、自身の努力不足だと痛感した。後は、一にも二にも発音と聴力の重要性を痛感した。また音痴の人は四声習得のために相当の覚悟と勇気が必要だと思う。(語学、私費)
中国語の基礎をしっかりと固めて行った方がいい。(語学、交換・派遣)
留学前にできるだけ語学力を高めておくといいと思います。(語学+専門、政府奨学金)
本科の授業が始まる前に、語学力をできる限りレベルアップさせておくことです。(専門、政府奨学金)
留学する前に留学先の言語をできる限り勉強しておく方がよいと思います。その方が、こちらで現地の友人も多くできますし面白い授業も先に取れると思います。(語学+専門、政府奨学金)
基本的な日常会話は前もって勉強しておいた方がいいです。(専門、私費)
語学に関して、必ず日本である程度勉強しておくことが必要と考える。特に漢語進修生(語学留学生)の場合、語学力の習得が主目的となると思うが、事前の準備の有無で、留學生活(特に学習面で)の充実度が全然違ってくると思う。(語学、政府奨学金)
現在留学中で留学開始から1か月程度しか経過していないため、留學生活についてのアドバイスはあまりないですが、日本で単語をできるだけたくさん勉強してこればよかったと思います。(語学、私費)

現地での勉強法

耳が中国に慣れていないため、ラジオをBGMとして流していた。発音は真似が一番。中国人教員の発音に集中し真似をすることで現地の発音に近づく。また留学の醍醐味は「今日覚えたことを今日街で使える」こと。どんどん使って身につけていくとよい。(語学、交換・派遣)
語学に関しては、中国語の特性上、初級文法は抑えつつ、音声面を徹底的に強化すると思います。まずは、漢字1つの音(余裕があれば漢字2つの音も)の聞き分けと発音をガンバリましょう。学習方法としては、音声教材の再生速度をできる限り上げ、ディクテーションやシャドーイングを繰り返すのが効果的かと。心構えは、人それぞれだと思いますが、あまり語学ばかりにとらわれず、柔軟な気持ちで生活を楽しむことをおススメしたいです。あまり成果があがらなくても大丈夫です。人生に無駄なことなど1つもありません。加油！(語学、交換・派遣)
語学習得目的の留学の場合は、なるべく現地の友人や他国の友人と多く接触するほうが語学上達が早いと思います。(語学、私費)
授業以外に会話の授業を探したほうが、よりスキルアップにつながると思いました。(語学、交換・派遣)

自分のペースで

留学前の語学力があまり高くないとしても心配する必要はない。現地ですっかり勉強すれば成果は必ず出る。気楽に、楽しんで勉強してほしい。(語学+専門、交換・派遣)
何もしゃべれなくても、聞いてわからなくても、半年も経てばゆっくりわかるようになってきます。あせらず、流されず、マイペースで勉強していけば必ずと結果はついてきます！がんばってください！！(語学、私費)
留学は語学を勉強することも大切だけれど、それ以上に多くの人と出会うことが大切だと思う。(語学+専門、私費)
現地の人はとても優しいのでゆっくり話してくれたり気を使ってくれるので耳から慣れるのは簡単だと思います。(語学、交換・派遣)

中国で中国語を学ぶということ

現地に行けば好きな中国語がもっと好きになって帰ってこれる。(語学、私費)
来たばかりのときは全く中国語が聞き取れなかったのですが、1か月でもだんだん耳が慣れて聞き取れるようになってきているので、話せなくても現地で活きた中国語を学ぶことは非常に意味のあることだと思います。また、日本人同士でかたまりずに外国人と積極的にかかわって、中国語をどんどん使えば話すことにも慣れてきます。(語学、私費)